

# PRESIDENT HEROES

ニッポンを元気にする  
社長たちに光をあてる

プレジデントヒーローズ Vol.1

たった5分の映像で  
人財を呼び寄せる

セルフメディアエージェント株式会社  
代表取締役  
和久井 海十 KAITO WAKUI

## EDITOR'S EYE

実は「人々が自分の人生にどう向き合うか」という仕事なのかもしれない

採用の  
新常識を  
切り拓いた男

「脅威の数字をたたき出す  
すごい方!!」

Aroud Wakui 外から見た和久井海十

㈱ハイブリッジ・ジャパン 高橋秀一

㈱イマジンプラス 笹川祐子

ライフデザインパートナーズ(株) 浅川智仁

EDITOR'S EYE  
プレジデントヒーローズが見た

## セルフメディアエージェントという会社の魅力と強み

取材していて、最後に気づいたことがある。  
和久井海十氏の仕事は、実は「人々が自分の人生にどう向き合うか」という、人の一生に関わるカウンセリングのようなものかもしれない、ということである。  
代表を務めるセルフメディアエージェント株式会社は、企業の採用を助ける会社だ。単に事業紹介的にその内容を述べるならば次のようになる。

- 感動映像制作事業
- 会社における採用事業
- 辞めない組織を作るコンサルティング

しかしこれだけでは、同社が行っていることの数パーセントも伝わらないということは、読者にはご理解いただけたと思う。今や採用問題は、多かれ少なかれすべての企業の課題と言っている。飲食業における人手不足や、外資系生命保険会社の人材育成問題などは、日々よく耳にする。また、多くの企業が高い離職率に悩んでいる。

なぜかとも必要な人材を確保できないのか？ なぜ社員に十分な力を発揮させることができないのか？

和久井氏への取材を通じて明らかになってきたのは、条件でしか人を、会社を選んでない現実だ。同時に、選択の余地なく人を採らざるを得ない状況が、雇用者と被雇用者とのミスマッチを誘発している。

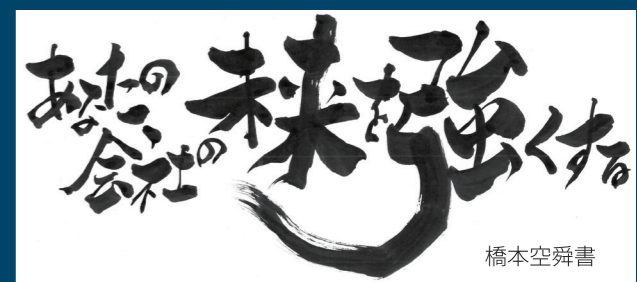
この現実に光明を与えたのが、和久井氏とその会社セルフメディアエージェントだった。

採用側の社長自身が、和久井氏のコーチングを通じて、自身の人生を俯瞰した中で、今の仕事人としての自分を見つめ直していく。その社長の生きざまに、自分の人生をどう重ね合わせることができるか、それを求職者が考えるようになる。

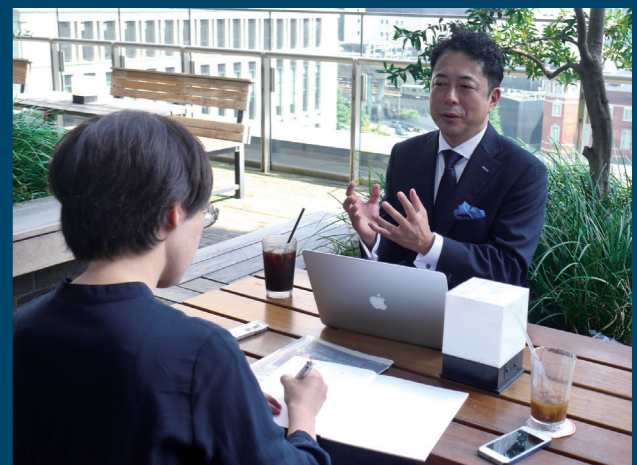
セルフメディアエージェントのコンサルティングを受けた企業の、採用担当者に行ったアンケートがある。

1. 動画を見せた説明会は面接希望者が3倍以上増えた。
2. 自分や会社の魅力をストレートに伝えられた。自分も感動した。
3. メラビアン法の法則か、記憶に残り、エントリー数が増えた。
4. 動画で個別の会社説明時間が軽減できた。
5. 社内スタッフも自分の会社の魅力や強みを再確認できた。


同社の動画の効果として挙げられたトップ5である。  
動画を見ると、求職者はもちろん、採用担当者や社長自身が涙するという。そして和久井氏もまた、作りながらつい泣いてしまうような動画でないと、彼らも泣いてくれないという。  
涙する時、多分脳裏に浮かぶのは、この仕事に導いてくれた、辛く、人生に迷ったあの時のことかもしれない。  
和久井氏が、今年からセルフメディアエージェントで掲げているキャッチコピーがある。



自身の辛い過去から力強く蘇ったその経験が、採用動画コンサルティングという仕事を通じて活かされ、クライアント企業の未来を強くしていくことだろう。



### 今回訪問した会社の情報

 セルフメディアエージェント株式会社  
本社 〒166-0012 東京都杉並区和田 1-11-4 グレース和田 201  
札幌支社 〒005-0004 北海道札幌市南区澄川 4 条 4 丁目 10-48  
TEL 03-5860-4380 MOBILE 080-4154-8910  
WEB <http://selfmedia.jp>

### 和久井海十の横顔

血液型：O型

好きな食べ物：スープカレー、ジンギスカン、うなぎ、寿司、カレーそば

好きなスポーツ：テニス、ゴルフ、サイクリング、水泳

好きなマンガ：『エンゼルバンク』『ドラゴン桜』『エースをねらえ』

『ベイビーステップ』

愛読誌：プレジデント

愛読書：福島正伸、三田紀房、勝間和代

好きな映画：『イエスマン』『キッド』

好きなテレビ番組：『がちりマンデー』『しくじり先生』『情熱大陸』

好きな色：オレンジ

最近のマイブーム：開脚ストレッチ、ハイボール

座右の名：思考は現実化する、夢しか実現しない

将来の夢：全国ネットのFM音楽＆ビジネスラジオ番組をもつ

一週間で1日カウンターだけの焼鳥屋を経営して、

焼きを担当する

テニスのマスターズでグランドスラムを回る

前日までの雨が嘘のようにあがり、その日はまさに秋晴れ。青空と太陽を背に、颯爽と現れたのは和久井海十氏だ。

「晴れ男なんです。」

テニスで鍛えられた姿は身のこなしも軽く、日に焼けた健康的な笑顔が印象的だ。

和久井氏が代表取締役を務めるのがセルフメディアエージェント株式会社。インパクトのある動画映像を武器に、企業を（採用）に特化してサポートする。映像は約5分間。その5分で共感を呼び、5人にひとり涙する。そこにあるのが、経験に裏打ちされた和久井氏のコーチングの手腕だ。（会社とは）（経営者とは）、依頼する企業の社長自身が気がついていないことまでをも、切り口鋭く探り出し、伝えるべき想いを導きます。

\* \* \*

和久井氏は1964年8月、北海道札幌市に生まれた。日本が初めてのオリンピックを開催。右肩上がりの未来を誰もが信じた高度経済成長期だ。

その武器は深く探るコーチング

たった5分の映像で  
人財を呼び寄せる。

掲げるミッションは、「あなたの会社の未来を強くする」。その理念は、「映像の力で感動を呼び起こし、コーチングの力で社長の魅力を引き出し、人が辞めないことでお客様と社会に貢献すること」。多くの企業の悩みの種である“採用”の新常識を切り拓いたセルフメディアエージェント株式会社代表取締役の和久井海十氏。その人、そして描く未来とは――

不登校、リストラ——。絶望があったから今がある。



持ち前のフットワークの軽さも和久井氏の魅力のひとつ。PCを開けばすぐにそこがオフィスになる。

少年和久井も輝かしい未来を夢見ていたに違いない。しかし、尋ねてみると、「生きていても仕方がない。そんな最悪な考えに捕われた日々を過ごしたこともありました」

**不登校だった17歳が 幸せになるために起業**

少年時代、和久井氏は「いい学校を出ていい会社に入って」という両親の教育のもと、勉強にスポーツに勤しんだ。どの家庭も同じことを目指した時代。中学では卓球で頭角を現し、学校の成績も良かった。女子にももてファンクラブが結成されたほどだった。高校は自信満々で進学校に。しかし、そこでプライドをへし折られた。

「ここには居場所がない。もう、人生をやめてしまいたい。」  
17歳で不登校に陥った。うまくいかないことは全て親のせいにした。大学受験にも惨敗し、家を出たい一心で上京した。

「いい!と思いました」  
働くことにやりがいを感じるようになるまでに、時間はかからなかった。

その後、北海道に戻って夜間大学に入り、昼間は正社員となり自動車の営業マンとして働く生活が始まった。パブルの中、車は面白いように売れたが、学校に行く時間がなくなり留年してしまう。

「これでは本末転倒だと思い、心機一転、IT企業でアルバイトを始めました」

同企業の札幌支店の平社員はたったひとり。営業からエンジニアまで任された。大学の現場でコンピュータを3台同時に組み立てることに。普通なら何年もかかる知識をその場で習得しながら3日3晩徹夜してやり遂げた。

「その時、北大の先生に、褒められたんですよ。おかげでいい研究ができます」と

苦労が報われると、喜びを糧にますます頑張る、ヘッドハンターの注目を集めることになる。3社をキャリアアップして最終的には外資系企業の日本の社長にまで駆け上がった。

きたという自信があったが、うまくいかなかった。  
しかし、10代の頃とは違う和久井氏がそこにはいた。最後の職場は単身赴任。趣味のテニスをするにも仲間はなく、暇を見てはビジネス系、自己啓発系書物を読みあさったことが財産となった。そこで知ったメインターとなる福島正伸氏が講師を務める「夢実践会」の一期生となって学んだ。「自分たちが幸せになるためには独立しなさい」という福島氏の言葉が心に響いた。

「よし、自分で会社を作ろう」  
2010年、セルフメディアエイジエント株式会社を立ち上げた。

**テーマを絞ることで 強みが出る〈採用〉に特化**

始めはコンサルティングをメインに、中小企業のソーシャルメディアを活用した情報発信のサポートを行った。その一環として動画も制作して好評だったがすぐに大手に真似をされた。しかし、そこでもう挫折しなかった。



**PRESIDENT HEROES**

**Around Wakui**

外から見た和久井海十 01

**和久井さんと共に学んでいきたい。**

株式会社ハイブリッジ・ジャパン

代表取締役 **高橋 秀一** さん

和久井さんは、お世辞抜きで素晴らしい人。私自身の成長のために必要なことも、適切にアドバイスしてくれます。

私自身は、北海道のスープカレーの美味しさと感動を全国に伝えるべく、2016年下北沢に出店を決定。それを機に、新卒採用も視野に入れての展開を和久井さんに相談しました。納品された動画は感動もの!! 私の会社創設への熱い思いや生き様までももしっかり伝え、見た方は拍手喝采。夢を叶えられる企業だと理解を深めていただけました。

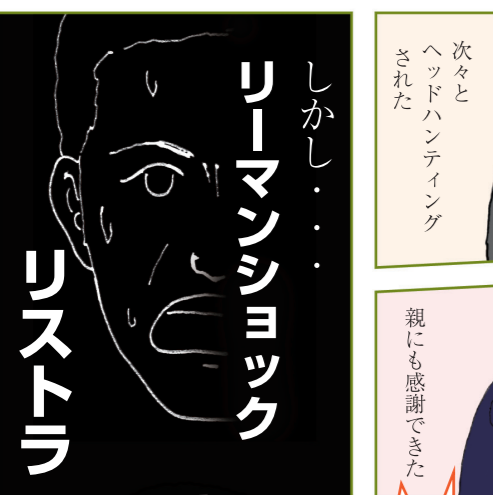
今後も和久井さんからどんどん学んでいきたいと思っています。



Profile **高橋 秀一**

2004年12月飲食事業（スープカレーSAMA）を立ち上げ、現在では13店舗にまで展開。食を通じて北海道を元気にするべく活動中。

■大手社会人野球チームでノンプロの投手としての活躍を経て、名鉄観光サービス（株）札幌支店に入社。国内外を巡る。1999年、株式会社ハイブリッジ・ジャパン創業。



**感動動画で勝負だ!**

## Around Wakui

外から見た和久井海十 02

### 脅威の数字をたたき出す すごい方！！

株式会社イマジンプラス

代表取締役

### 笹川 祐子 さん

私から和久井さんに捧げる言葉は、感謝しかありません。  
弊社では新卒の採用説明会のオープニングで使用する「会社説明」の動画をお願いしました。新卒者はもちろんですが、採用担当の社員にも大変評判がよく、みんな大喜びでした。さらに、ここで和久井マジック！ミラクルが起きたんです。説明会に参加した学生が全員次の面接も希望したんです。100%!! これは驚くべき数字です。それもすべて、和久井さんのうわべではなく中身を抜くチカラ、そしてコーチング力のおかげだと思います。



Profile  
笹川 祐子

北海道から起業を目指し上京。現在、年商約50億にまで成長。趣味は読書、神社巡り、旅行、温泉。  
■1997年株式会社イマジンプラス創業。セールスプロモーションの人材教育、総合人材サービス、教育研修事業、求人サイトの運営を全国展開。本社：東京都新宿区西新宿

「テーマを絞ることで強みが出せ、他との差別化が図れる」と確信。幅広く行っていた業務を「採用」に絞りました」

人がすぐに辞めてしまうなど、昨今の中小企業は採用に苦労している。お仕着せの動画を作って見せて、求職者がわかった気になって就職しても、違っていたら「こんなはずではなかった」と簡単に辞めてしまう。

「中小企業はイコール社長なんです。その社長を好きならついて行くでしょう。」

社長の魅力・情熱を100%抽出して描き出す動画を提供することで評判になった。そこで活かされたのが、2539人もの経営者のコンサルティング経験から培われたコーチング。これがあると5分の「採用動画」に血が通うのだ。

「社長自体、自分の魅力に気づいて



「わかりやすく、ためになる。」人柄がにじむセミナーは東京でも札幌でも大盛況だ。

ない方もいらつしやる。そこを引き出しながら作成します」

見て共感し、この社長の元で働きたいと強く願う者が続出する。

「採用者が辞めない会社を」  
和久井氏の狙いは当たった。

### 漫画から選手まで テニスに学んだヒーロー学

今や八面六臂の活躍を見せる和久井氏。コーチング講師としてもセミナーに講座にと大人気だ。著書も多数あるが、その中で異彩を放つ一冊がある。それが電子書籍の『勝つテニスだ』。

「最後にポイントを取ることをイメージして逆算すればいいんです。さらに休憩中に相手チームの様子をよく観察して、どう出るか推測する。それだけで、勝てるようになります。」

語り始めると止まらない。大好きなテニスからも、どんな欲に様々なものを吸収していく姿勢は、さすがとしか言いようがない。

### 次へのステップは 故郷であり両親のいる札幌で

和久井氏に今後を尋ねた。会社をただ大きくすることは考えていない。クライアントにとって本当にいいものを編み出すには、少数精鋭の現在がちょうどいいという。  
「スタッフには私のようにへ与え上手になって欲しいですね」  
和久井氏はちょっと真顔になってから、照れたように笑った。

\* \* \*  
数年前、自らのプロフィール映像を作った。  
「10代の暗黒時代も含め、今までを

ます。ビジネスも同じ仕組みなんですけどね」

実はテニスには深い繋がりがあ。最初に正社員として働いた自動車販売会社の取引先に「テニスコーチがいた。誘われてプレイするとにかく褒めてくれた。会社では叱られてばかりだったので嬉しさも手伝い、テニスにはまった。」

そのコーチは車を買ってくれたことはなかったが、テニスの楽しさと人の心を動かす術をしっかりと学んだと思っている。

さらに、和久井氏にとってのヒーローもテニス界にいます。  
「今は錦織。そして、長年崇めているのが『エースをねらえ』の宗方仁です。漫画ですがストーリーも読めば読むほど深く、あの、松岡修造氏もツアーには全巻持って回っていたらしいです」

振り返って、初めてすっきりすることができました。そして親への感謝もね」

そして2016年、故郷の札幌に支店を置く。それは親孝行のひとつでもあるのだが、今後、本社も札幌に移すことも視野に入れ、道産子社長会の発起人にも既になっている。今は東京と札幌の往復に多忙な日々。どちらにも、和久井氏を待つ仲間がいる。  
「事業の目的は大金を稼ぐことではなく、パートナーたちと幸せになることだと思っています」



和久井海十氏の著書

『人を動かす技術』  
ごきげんビジネス出版

『Ameba ブログで売上を10倍にする技術!』  
秀和システム

『iPad ノマド仕事術』  
サンマーク出版

## Around Wakui

外から見た和久井海十 03

### 「この人と仕事がしたい！」 和久井さんに惚れ抜いています。

ライフデザインパートナーズ株式会社

代表取締役

### 浅川 智仁 さん

とにかくコンサルタントとして、人として和久井さんを信頼しています。  
弊社が満を持して発売した手帳を発表する際、「この人と仕事がしたい!」という思いもあり、動画制作を依頼しました。それは、私自身が営業で培ったノウハウだけでなく、私自身の生き方や考え方が反映されたもの。私の変遷や商品の魅力を余すことなく見事に映像化してくれました。それもひとえに、和久井さんのUSPを的確に見つけ、磨く能力（コーチング）のおかげだと思います。私自身も素晴らしい気付きを得られたと感謝しています。



Profile  
浅川 智仁

「人生はデザインするもの」、「セールスは芸術である」をモットーに、セールスパークが社会で尊敬される世の中創りを目指し、日々活動中。  
■ 営業コンサルタント ■ 成功格言研究家  
■ モチベーター ■ ナポレオン・ヒル財団アジア / 太平洋本部認定講師 ■ アジアを代表する次世代の経営者100人(2010) 選出



東京在住の北海道出身経営者の会「道産子社長会」を始め、北海道への愛も和久井氏の原動力だ。

### オフタイムも、実は仕事にインスピレーションを 与える重要な時間



FM 番組に出演したり、焼鳥を焼く腕はプロ並みだったり、テニスではマスターズでグランドスラムを狙っていたり(笑)。多才ゆえに多忙だ。